

# みんなで取り組む 「教育立県ちば」プラン

「ふれる」・「かかわる」・そして「つながる」

## ごあいさつ



「今の子どもたちや若者には、夢がない、希望がない」と言われて久しくなっています。また、「おはようございます」「ありがとうございます」といった当たり前のあいさつさえもできない、などという声も多く聞きます。

はたして、それは、子どもたちに原因があるのでしょうか。

子どもたちや若者の夢や希望を削（そ）いでいるのは、私たち大人自身ではないのでしょうか。私たち大人が、子どもたちにきちんとした手本や生き方を見せているのかどうか、真摯（しんし）に考える時がきていると思います。

50年前、アメリカのケネディ大統領が「月に行こう」と言った時、「そんなこと、できるわけがない」と多くの日本人が思いました。しかし、アメリカ人は「絶対できる」「やってみようじゃないか」と可能性を信じ、挑戦し続けた結果、人類初の月面着陸を成功させました。まさに、アメリカンドリームです。

今の子どもたちや若者にも、大きな夢や希望を持って輝いてもらいたい。そして、前向きで明るく、元気にあいさつができ、人としての基本的な常識や強く美しい日本の心を持った誇りある人間に育ててほしいと思います。

私は、知事就任後まもなく、教育委員の皆さんと意見交換を行い、千葉県教育の現状や課題について話し合いました。

そこで、本県の今後の教育の在り方について、県内外の有識者の方々から、学校教育の充実はもとより、家庭教育や地域全体の教育力の在り方などを大所高所から検討していただくため、昨年9月に「千葉県の教育を元気にする有識者会議」を設置いたしました。その結果、『ふれる』、『かかわる』、そして『つながる』をスローガンとする貴重な提言をまとめていただきました。

この提言を踏まえ、多くの県民の方々の御意見もいただき、新たな教育振興基本計画「みんなで取り組む『教育立県ちば』プラン」を策定することができました。

千葉県には、豊かな自然やバランスのとれた産業、人材など、子どもたちを育てていくためのポテンシャルが数多く存在します。この豊かな自然を守り、産業を更に発展させ、思いやりにあふれた地域社会をつくるためには、「人づくり」、すなわち教育をおいてほかにないと考えています。学力や体力の向上はもちろんですが、特に、道徳教育の充実など、心を育てる教育の一層の充実が不可欠です。

今後は、本計画のもと、千葉県の持てる「宝」を最大限に生かし、質の高い教育を推進し、「教育立県ちば」「教育日本一」の実現に向けて教育委員会とともに取り組んでまいります。

千葉で学び、千葉に育つ子どもたち、

どうか郷土と日本国に誇りと自信を持って歩いていてください。

君たちが夢や希望を持って成長することができるよう精一杯応援します。

そして、子どもたちと共に頑張っている先生方にエールを送ります。

平成 22 年 3 月

千葉県知事

森田 健作

## 「ふれる」、「かかわる」、そして「つながる」

現在の千葉県の教育においては、学力向上、豊かな心と健やかな身体の育成、職業への理解と働く意欲の向上、ルールやマナーを大切にする規範意識やコミュニケーション能力の育成に向けた期待や要望とともに、いじめや不登校への対応など解決すべき課題もあります。

また、今、子どもたちには、多くの出会いや触れ合いを通じて、実社会とかわり合いながら、道徳的実践力を培うなど、心豊かに成長していくことが求められています。

こうした中、平成18年12月、60年ぶりに教育基本法が改正され、地域の実情に応じて地方公共団体は教育振興基本計画を策定するよう努めることになりました。

県教育委員会では、平成19年7月に多くの県民の皆さんの協力を得て、「千葉県教育の戦略的なビジョン」を本県教育振興基本計画の基盤として策定し、今日的な教育課題に的確に対応し、教育を核とした新しい地域コミュニティの構築に向け、様々な施策に取り組んできたところです。

さらに、現在の厳しい経済情勢や教育環境の変化に適切に対応し、今後の本県の教育の在り方等について大所高所から検討いただくため、「千葉県の教育を元気にする有識者会議」を設置し、平成22年1月に提言をまとめていただきました。

この提言を踏まえ、多くの県民の皆様からの御意見をいただきながら、千葉県教育振興基本計画「みんなで取り組む『教育立県ちば』プラン」を策定することができました。

この計画では、「『ふれる』、『かかわる』、そして『つながる』」を基本的な取組方針として、10年後の子どもたち、家庭、学校、地域の姿を展望し、それを実現するための目標と施策の方向性及び今後5年間に実施する重点的・計画的な取組等を盛り込んでいます。

計画の推進に当たっては、福祉、雇用、労働、防災、環境、産業など幅広い分野の関係者と連携し、横断的・総合的な取組を推進します。そして、「すべての大人が子どもたちの育成にかかわる」ために、家庭、学校、地域がかかわり、つながることにより、さらに大きな教育力となり、郷土と国に誇りと愛着を持った真の国際人を育てる「教育立県ちば」の実現を目指してまいります。

平成22年3月

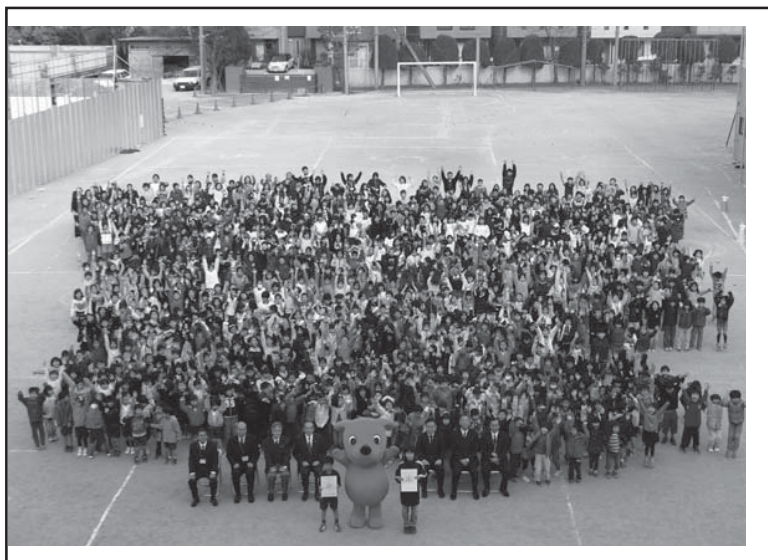
千葉県教育委員会

# 目次

<b>第1章 計画策定の基本的考え方と千葉県の教育をめぐる現状</b> .....	<b>1</b>
1 計画策定の趣旨 .....	2
2 策定のプロセス .....	3
3 計画の性格 .....	3
4 千葉県の教育をめぐる現状 .....	4
<b>第2章 千葉県教育の目指す姿</b> .....	<b>17</b>
1 千葉県教育の目指す姿 .....	18
2 基本的な取組方針とプロジェクト .....	21
<b>第3章 施策の方向と5年間に実施する重点的な取組</b> .....	<b>23</b>
施策体系 施策の基本的な方向と5年間に実施する重点的な取組 .....	24
I 過去と未来をつなぎ世界にはばたく人材を育てる ～夢・チャレンジプロジェクト～ .....	27
1 志を持って、失敗を恐れずチャレンジする人材を育てる .....	28
2 歴史と伝統文化に親しみ、郷土と国を愛する心を育てる .....	32
3 異文化を理解し、国際的コミュニケーション力のある真の国際人を育てる .....	35
II ちばのポテンシャル（潜在能力）を生かした教育立県の土台づくり ～元気プロジェクト～ .....	39
1 読書県「ちば」を推進する .....	40
2 多様な自然、産業、人材などを生かした体験活動を推進する .....	44
3 教育現場を重視し、教職員の質と教育力の高さでトップを目指す .....	47
4 道徳性を高める実践的人間教育を推進する .....	51
5 フェアプレーの精神を育てるスポーツ、健康・体力づくりと食育を推進する .....	54
6 一人一人の特性に目を向けた特別支援教育を推進する .....	59
7 豊かな学びを支える学校づくり .....	63
8 安全・安心な教育環境の整備 .....	66
III 教育の原点としての家庭の力を高め、人づくりのために力をつなげる ～チームスピリットプロジェクト～ .....	69
1 「親学」の導入など、家庭教育を支援する .....	70
2 学校教育と社会教育、国公立教育と私学教育、産・学・官、公と民 などのネットワークを構築する .....	74
3 様々な困難を抱えている子どもとその家族を支援する取組を強化し、 教育のセーフティネットを確保する .....	78
<b>第4章 計画推進のための方策</b> .....	<b>83</b>
1 ライフステージごとの重点取組と家庭・学校・地域の役割 .....	84
2 教育を核とした新しい地域コミュニティの構築 .....	87
3 計画の推進に向けた体制づくり .....	89
<b>資料編 策定経過</b> .....	<b>91</b>

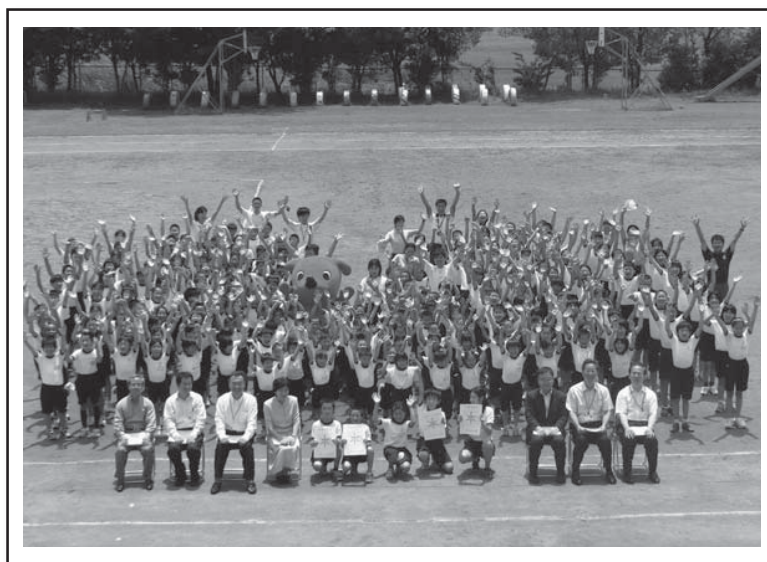


## 「遊・友スポーツランキングちば」



大賞

市川市立新井小学校



大賞

佐倉市立印南小学校